

# 東北地方 1か月予報

(7月6日から8月5日までの天候見通し)

平成14年7月5日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北太平洋側では、梅雨入り以降南部を中心に曇りや雨の日が続いており、向こう1週間も天気がぐずつく見込みです。農作物の管理には十分注意して下さい。

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、曇りや雨の日が平年より多いでしょう。

なお、東北地方では梅雨明けが遅れる可能性があります。

向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ない見込みです。

週別の気温は、1週目と2週目は平年並、3～4週目は平年並か低い見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)     平年並     高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い     平年並     高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 7月 6日(土)～8月 5日(月)

1週目 : 7月 6日(土)～7月 12日(金)

2週目 : 7月 13日(土)～7月 19日(金)

3～4週目 : 7月 20日(土)～8月 2日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は7月12日

3か月予報：7月22日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温(℃)		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	21.6	160.9	155.9	19.9	20.8	22.6
新庄	22.9	183.1	162.7	21.2	22.0	23.9
若松	24.0	155.8	179.0	22.4	23.2	24.9
深浦	22.0	150.4	182.9	20.1	21.1	23.0
青森	21.8	107.1	183.1	19.9	20.9	22.8
むつ	20.3	120.1	156.5	18.4	19.4	21.3
八戸	21.0	113.8	173.2	18.9	19.9	22.1
秋田	23.3	175.3	178.6	21.5	22.5	24.4
盛岡	22.3	168.8	149.8	20.7	21.5	23.3
宮古	20.7	137.9	154.5	18.8	19.7	21.7
酒田	23.8	181.1	190.7	21.9	22.9	24.8
山形	23.8	144.0	164.2	22.1	22.9	24.8
仙台	22.7	156.7	137.1	20.9	21.8	23.7
石巻	22.0	124.3	156.6	20.3	21.1	22.9
福島	24.2	142.9	143.0	22.4	23.2	25.1
白河	22.5	189.9	139.5	21.0	21.8	23.3
小名浜	22.3	120.1	165.4	20.7	21.6	23.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.7	81~116	92~110
東北日本海側	-0.4~+0.5	80~118	91~110
東北太平洋側	-0.3~+0.8	77~117	92~114

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.6	-0.9~+0.9	-0.4~+1.0
東北日本海側	-0.6~+0.5	-0.8~+0.8	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.9~+0.8	-0.9~+1.1	-0.3~+1.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成14年7月5日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(7月6日~8月5日) :

梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、平年より曇りや雨の日が多いでしょう。

なお、東北地方では、梅雨明けが遅れる可能性があります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(7月6日~7月12日) :

期間の前半は梅雨前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多い見込みです。後半は高気圧に覆われ日本海側では晴れる所もありますが、太平洋側では湿った東よりの風の影響で曇りの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(7月13日~7月19日) :

梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(7月20日~8月2日) :

梅雨前線やオホーツク海高気圧の影響で、平年より曇りや雨の日が多いでしょう。

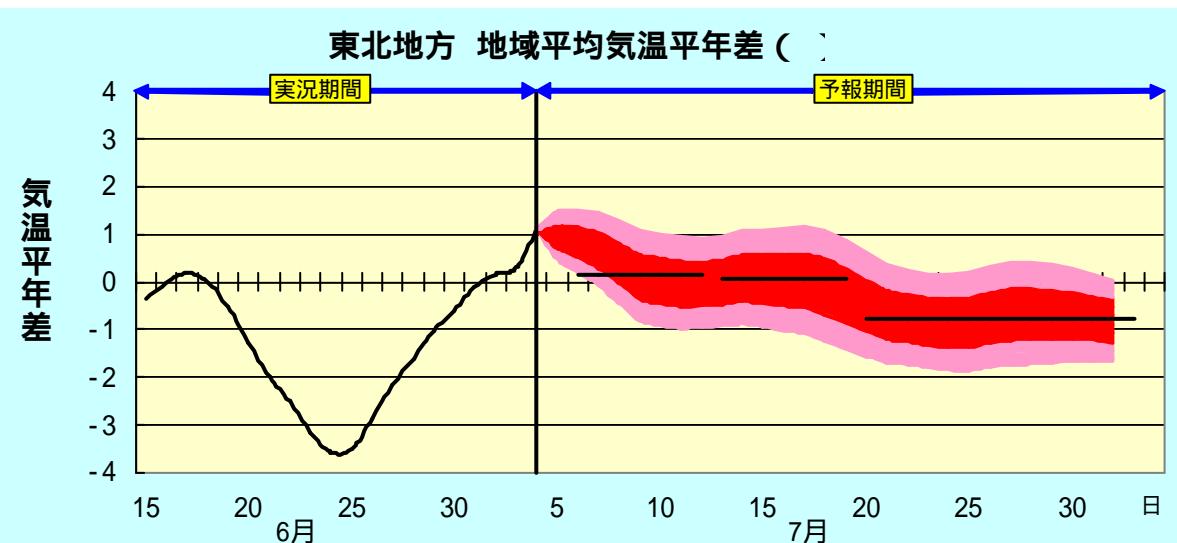
平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

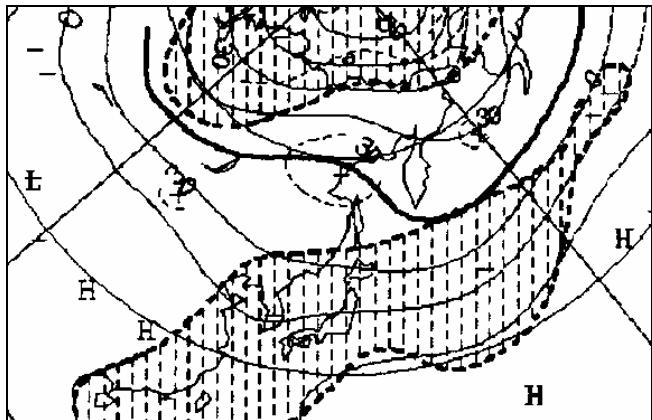
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.6日	2.6日	2.9日	8.1日
東北太平洋側	11.9日	2.3日	2.5日	7.1日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目と2週目は「平年並」、3~4週目は「低い」を予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か低い」とする他は数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



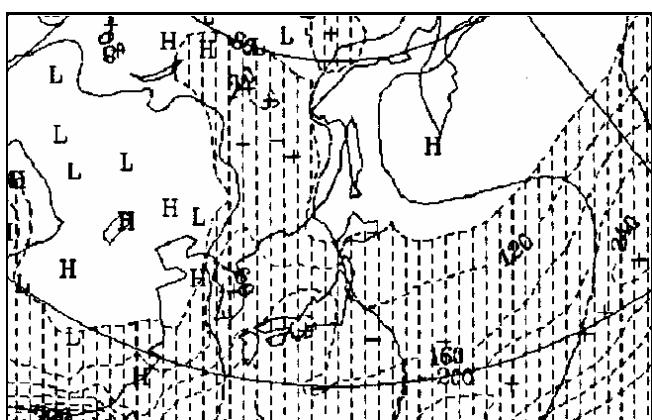
### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本の東海上から日本付近、さらに台湾にかけて負偏差。朝鮮半島付近に気圧の谷があり、沿海州に気圧の尾根がある。

週別（図略）では、1週目は月平均と同様だが、2週目は朝鮮半島付近の気圧の谷がやや深まり、日本の東海上の負偏差が解消する。また、太平洋高気圧が日本の南海上に張り出す。3~4週目は朝鮮半島付近の気圧の谷はやや浅まるが、日本の東海上から東シナ海にかけて負偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本の南海上が低圧部になっており、西日本中心にまとまった降水域が予想される。また、オホーツク海には高気圧があって、北日本に張り出す。

週別（図略）では、1週目は日本の南海上と日本海に低圧部があって、まとまった降水域が予想される。2週目、3~4週目は地上気圧・降水域とも月平均と同様。

### 4. 最近1週間（6月28日～7月4日）の天候の経過

この期間、前半は高気圧に覆われ概ね晴れたが、東北南部の太平洋側は湿った東よりの風の影響により曇りの日多かった。後半は、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日多かった。

なお、5日に東北太平洋側の日照不足に関する気象情報を発表した。

平均気温は、東北地方で平年差-0.1と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比78%と平年並だった。日照時間は、東北日本海側で平年比122%と多く、東北太平洋側で平年比82%と平年並だった。

